

日ラグ協発第 17-252 号

平成 29 年 6 月 19 日

関東ラグビーフットボール協会

会長 水谷 眞 様

関西ラグビーフットボール協会

会長 坂田 好弘 様

九州ラグビーフットボール協会

会長 森 重隆 様

(公財)日本ラグビーフットボール協会

専務理事 坂本 典幸



ルーリング 2017-1

「競技規則第 19 条 タッチおよびラインアウト」

(競技規則の確認) <通達>

拝啓、平素は日本ラグビーの普及発展につきまして多大なるご尽力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、競技規則につきまして、ワールドラグビーよりこのほど、下記の通りルーリングに関する通達が出されました。

日本協会でもこれを受け、ここに通知いたします。

貴協会におかれましても加盟都道府県協会、および、各チームに周知徹底いただけますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

ワールドラグビーの 15 人制ハイパフォーマンスマッチオフィシャルマネージャーであるアラン・ローランド氏は、競技規則第 19 条、その中でも特に以下に関する解釈について、競技規則の明確化を要請する:

昨年ゴールラインとデッドボールラインに関するルーリングが出されており(※「ルーリング 2016-5」※)を、22 メートルラインについてもこれに合わせることについて。

※ 日本ラグビーフットボール協会通達：日ラグ協発第 16-706 号 (添付参照)

提示されたルーリング:

タッチラインの定義の変更（競技規則第 19 条）は、デッドボールラインおよびゴールラインと同じく 22 メートルラインにも適用されるものである。22 メートルラインに関する条件を第 19 条に合わせることは、第 18 条「マーク」の定義に影響しない。

施行日: 即日

以上